



# 宮崎大学学術情報リポジトリ

## University of Miyazaki Academic Repository

宮崎大学での30年の研究・教育の記録 別冊：  
講演・シンポジウム・学会等で使用したパワーポイントでのスライド集

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2013-04-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 山村, 善洋 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10458/4464">http://hdl.handle.net/10458/4464</a>

# 宮崎大学での30年の研究・教育の記録

## 【別 冊】

----- 講演・シンポジウム・学会等で使用した  
パワーポイントでのスライド集 -----

2013年 3月

宮崎大学農学部

山村善洋

## 緒 言

宮崎大学に昭和58年3月に着任し、この3月で丁度30年になる。

着任した当日が、丁度木花新キャンパスの起工式の日であった。そのことは後日知ったことであるが、3学部の中で農学部が先発で、当時の農業工学科の移転は翌年昭和59年10月であったと記憶する。

この移転前後の4～5年は教育も研究も不自由で不十分な環境で進行していた。移転当初の新キャンパス敷地には草も生えておらず、雨の季節には泥濘み、冬の乾燥季には西からの季節風（霧島風）で大変な砂埃に見舞われた。この間は、実験圃場には水道も電気も来ていなかった。そのことが、今考えると寧ろ不思議な気すらする。

処で、退職するに当たり、何らかの形で記録めいたものを残そうと色々と思案し、最近のデータを追加して新たに記録を作成しようと考え努力したが、それは無理だと判断するのに時間を要し、結局時間の浪費に終わった。この件は退職後の仕事とした。

そこで、兎も角これまでの30年間に学会・シンポジウムで発表したものに限って纏める事を考えた。その結果がこの冊子の本編であり、この別冊は本編を補うもので、講演・発表時に使用したパワーポイントのスライドを纏めたものである。大学での研究には当然のことながら、学生の教育と大きく関連する。従って、この冊子の中には学部学生、大学院生が卒業論文・修士論文および学会で発表したものが含まれている。

内容は灌漑、水・気象・環境、気象災害等広範・多岐に亘っているが、これを纏めてみて、改めて昔、こんなことも考え、こんなこともやっていたんだと自分で感激する内容も多々あった。今では陳腐なものも、昔は最先端のものであった。未だに解決していないものもある。退職するに当たり、自分史として意義のあることとなったが、この冊子を目に触れられた方にとって何かの参考になることがあれば幸甚である。

## 第Ⅰ部 講演・シンポジウム等

宮崎大学での30年と農業土木	1～12
平成24年度宮崎県農村振興技術連盟専門研修会 2013.2.21	
用水機場管理の現状と課題 土地改良施設管理基準—用水機場編—の解説	1～15
平成13年度農業土木学会九州支部講習会 2001.11.21	
降雨に伴う地下水位変動と土壌水分動態	1～14
第16回農業土木学会水文・水環境研究部会シンポジウム 2003.10.31	
降雨に伴う災害	1～15
宮崎県治山林道協会主催 森林土木事業担当者技術研修会 2009.2.24	

## 第Ⅱ部 学会講演会・卒業論文・修士論文

宮崎の干ばつについて	2001.10 農業土木学会九州支部講演会	1
日最低気温と茶の防霜	2001.11 農業気象学会九州支部講演会	4
地中温度による土壌水分変動の推定に関する基礎研究	卒業論文 内田治伸	7
地中温度変動に及ぼす降雨及び地下水位の影響	修士論文 吉開一男	13
降雨による土壌水分の変動について—宮崎大学附属農場の場合—	卒業論文 斎藤芳美	19
霧島山（新燃岳）の噴火に伴う土石流被害について	2012 卒業論文 漆間翔也	22
2011年に発生した宮崎県における水不足の実態調査—川南原土地改良区の事例—	2012 卒業論文 石田光一郎	28
宮崎大学圃場の風向・風速特性	2012.11 農業気象学会九州支部講演会	33